

岩手医科大学附属病院における緩和ケアの取り組み 緩和ケアセンター運営状況を中心に



緩和ケアセンター

副センター長（緩和医療学科） 木村祐輔
GM （乳がん看護認定看護師） 三浦一穂
専従看護師（緩和ケア認定看護師） 萬徳孝子
（緩和ケア認定看護師） 佐藤由紀



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

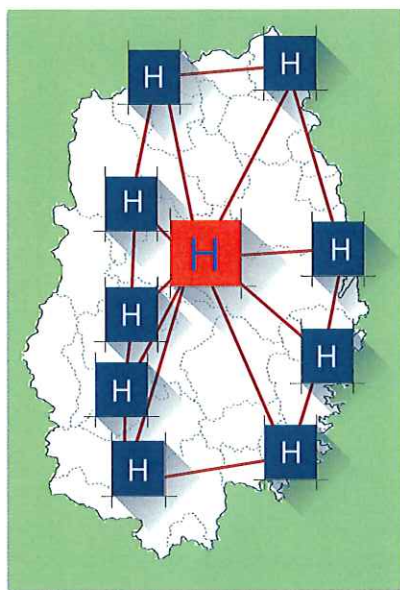
本日お話しすること

- ▶ 岩手県の概要
- ▶ 当院の概要
- ▶ 緩和ケアセンターの成り立ちと活動状況
- ▶ 当院における緩和ケア推進のための取り組み
 - ・がん患者・家族サロン
 - ・高度看護研修センター 緩和ケア認定看護師教育課程
- ▶ 苦痛のスクリーニング実施状況
- ▶ 岩手県における緩和ケア連携と質の向上をめざす取り組み
 - ・岩手県緩和ケアテレビカンファレンス
- ▶ まとめ



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手県がん診療連携拠点病院



❖都道府県がん診療連携拠点病院

▶ 岩手医科大学附属病院

❖地域がん診療連携拠点病院

- ▶ 岩手県立中央病院
- ▶ 岩手県立中部病院
- ▶ 岩手県立胆沢病院
- ▶ 岩手県立磐井病院
- ▶ 岩手県立大船渡病院
- ▶ 岩手県立宮古病院
- ▶ 岩手県立釜石病院
- ▶ 岩手県立久慈病院
- ▶ 岩手県立二戸病院

県立病院

がん診療連携拠点病院、他の中核病院（盛岡赤十字病院など）の緩和ケアチームリーダーは、ほぼ全て外科医が担っている。

緩和ケアを進める上で連携が容易である



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

当院の概要

▶ 都道府県がん診療連携拠点病院

- ▶ 特定機能病院
- ▶ 基幹災害拠点病院
- ▶ 救命救急センター
- ▶ 総合周産期母子医療センター

▶ 病床数：1166床

- ▶ 外来患者数 531,383人/年
1日平均 1,990人
- ▶ 入院患者数 331,802人/年
1日平均 907人
- ▶ 新規がん入院患者数 4,226人/年
- ▶ 手術件数 9,868件/年
- ▶ 平均在院日数 14.3日

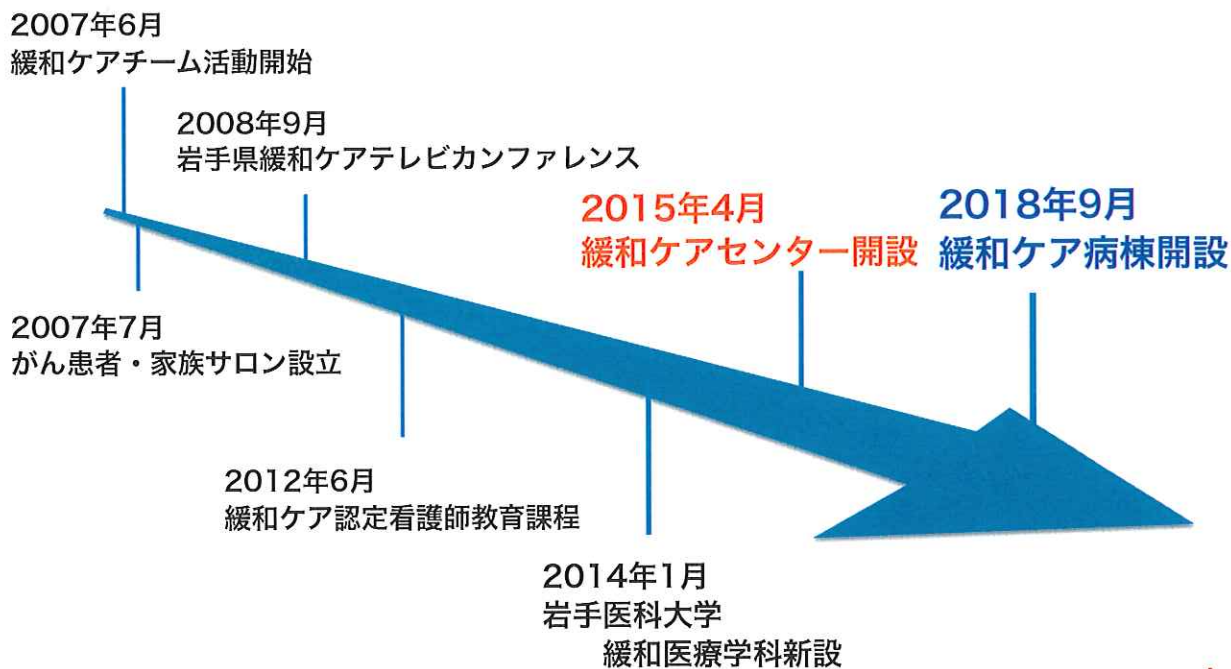


(2015年度)

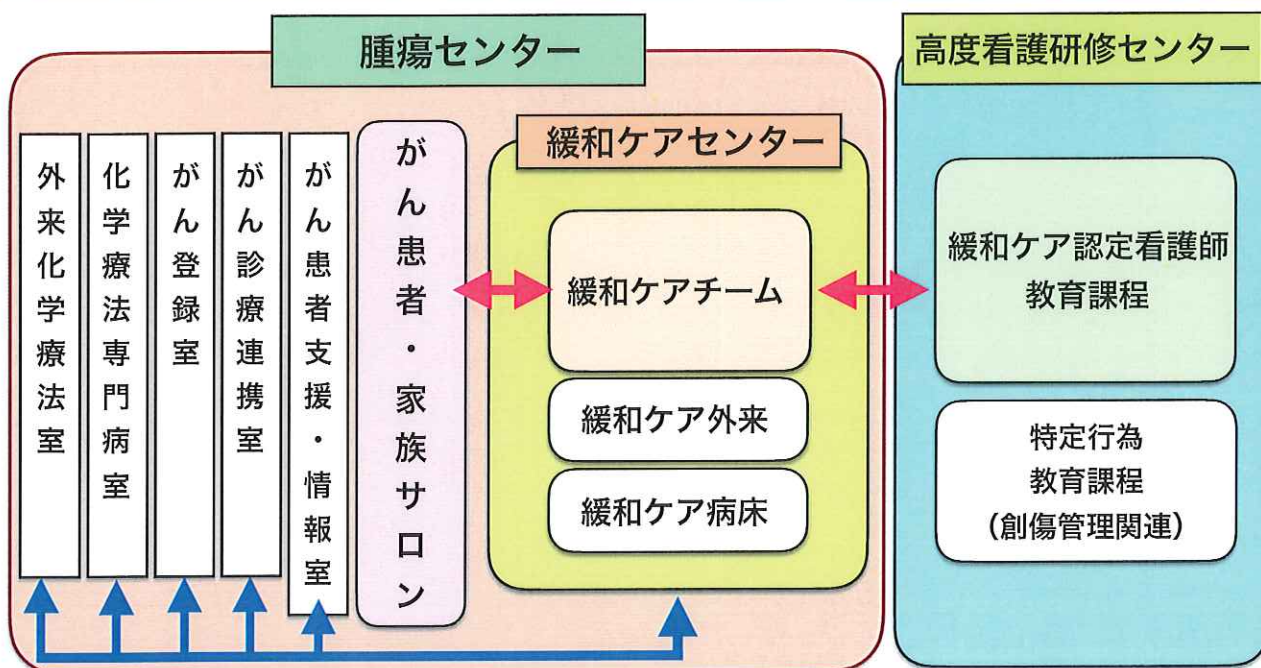


Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

当院における緩和ケアの歩み



緩和ケアの提供体制



緩和ケアセンターの活動状況（コアメンバー）

- ▶ センター長：伊藤 薫樹（腫瘍センター長、腫瘍内科学教授）
- ▶ ジェネラルマネージャー：三浦 一穂（看護師長、乳がん看護認定看護師）
- ▶ 身体症状担当医師：木村 祐輔（緩和ケアセンター副センター長、緩和医療学科）
：青木 優子（麻酔科専門医、緩和医療学科）
- ▶ 放射線科医：有賀 久哲（放射線治療学講座教授）、及川 博文（講師）、菊池 光洋（助教）
- ▶ 精神症状担当医師：水谷 歩未（助教）
- ▶ 専従看護師：萬徳 孝子（緩和ケア認定看護師）、佐藤 由紀（緩和ケア認定看護師）
- ▶ 薬剤師：佐藤 淳也（がん専門薬剤師、がん指導薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師）
：森 恵（がん薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師）
- ▶ 臨床心理士：藤原 恵真、久保 千尋
- ▶ 歯科医師：阿部 晶子、松井 美樹
- ▶ 歯科衛生士：江刺家 和恵、熊谷 佑子、堀合 久美子、細田 留美子
- ▶ 管理栄養士：高橋 一枝、高橋 由奈、菅原 侑子
- ▶ 理学療法士：佐藤 真一、乙茂内 聡美
- ▶ 作業療法士：坂本 綾奈、佐藤 瞭
- ▶ 言語聴覚士：小野 二美
- ▶ 社会福祉士：青木 慎也、玉川 聡子
- ▶ リンクナース 17名

※赤字：専従スタッフ



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手医科大学附属病院緩和ケアチーム



全体ミーティング：毎週火曜日16：00-17：00



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

緩和ケアチームの活動目標

- ▶ 患者・家族の『全人的なつらさ』に対し、緩和につながる様々な方法を駆使し、迅速に対応する。
- ▶ 主治医、看護スタッフの『苦悩』や『困った』に対応する。

緩和ケアに関する最新の知識・技術をupdateし、チーム力の向上を図る。

- ▶ 身体症状の緩和（薬剤、放射線治療、神経ブロック、IVR、ステント治療）
- ▶ 精神的サポート（傾聴、精神科的アプローチ）
- ▶ 病状理解、意思決定のサポート
- ▶ 家族ケア（小児がんのご家族への対応、若年患者さんのお子さんへの対応）
- ▶ 療養場所選択・連携支援（在宅療養、ホスピス、地域医療機関へ）
- ▶ 終末期鎮静に関するチームアプローチ



麻薬自己管理指導



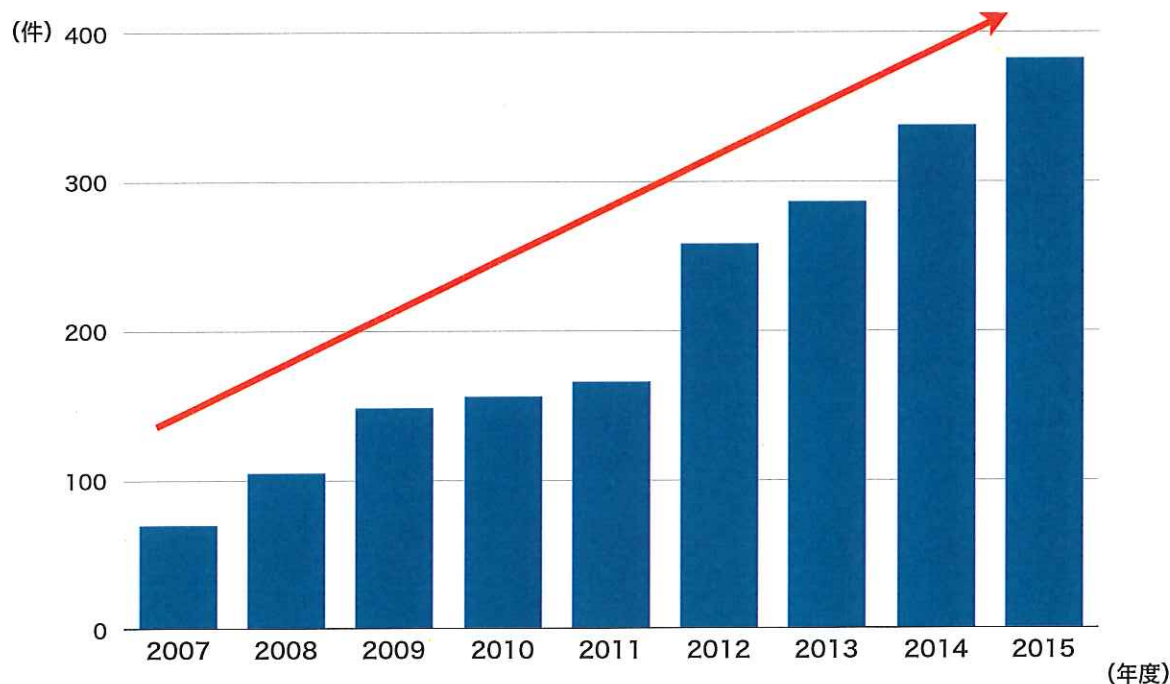
歯科スタッフによる
口腔ケア



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手医科大学附属病院緩和ケアチーム

患者依頼数の年次推移

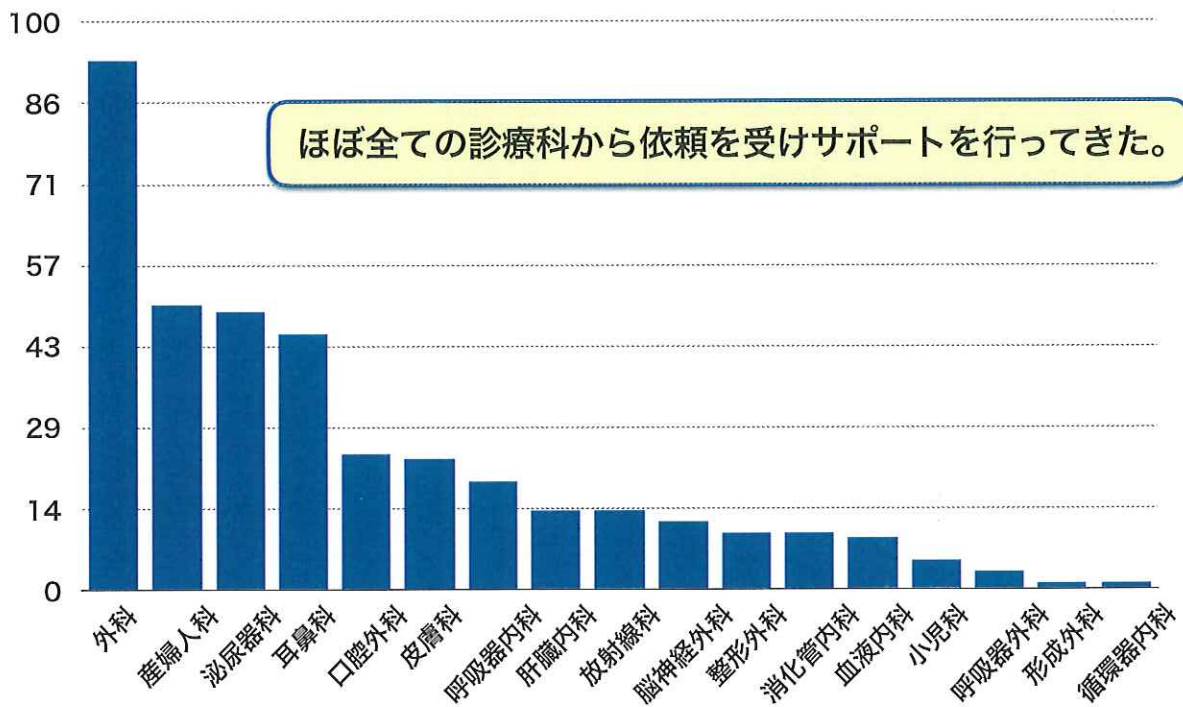


依頼総数：1915件（2007.6～2015.3）※382件（2015.4～2016.3）

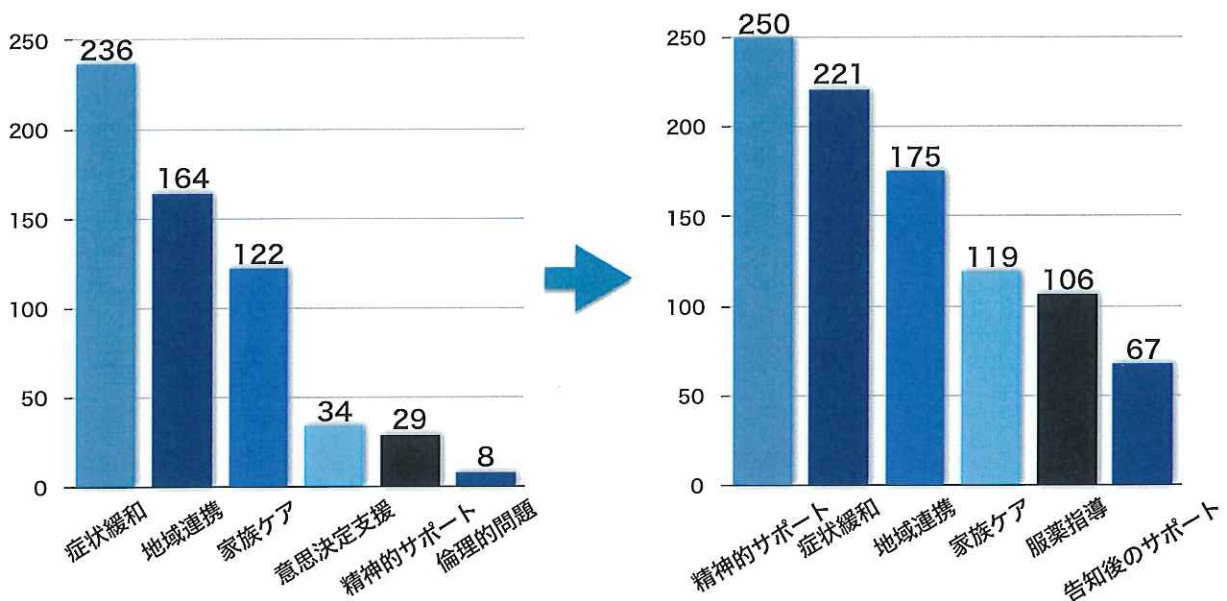


Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

診療科別 依頼数 (2015年度 n=382)



主たる依頼内容の変化



n=340 (2014.4 -2015.3)

n=382 (2015.4 -2016.3)



緩和ケアセンターの開設により専従者が5人体制に。

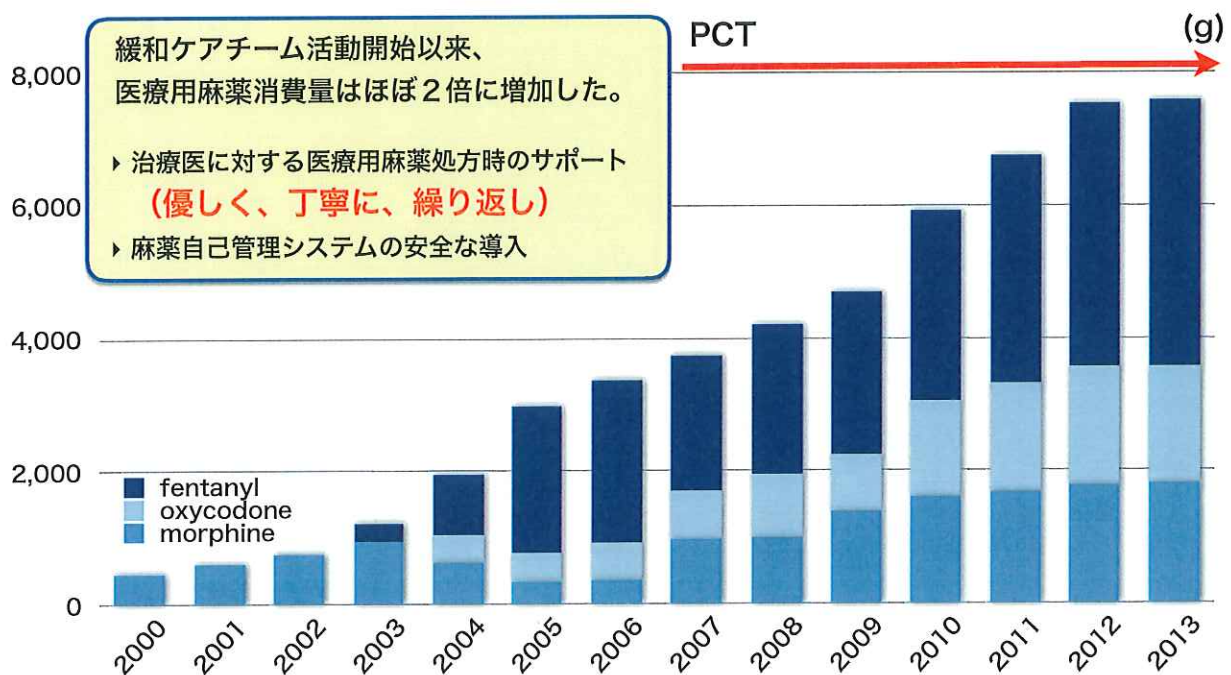


専従スタッフの充実により、患者・家族に対し、より一層きめ細やかな関わりを持つことができるようになった。



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手医科大学附属病院 医療用麻薬消費量の推移



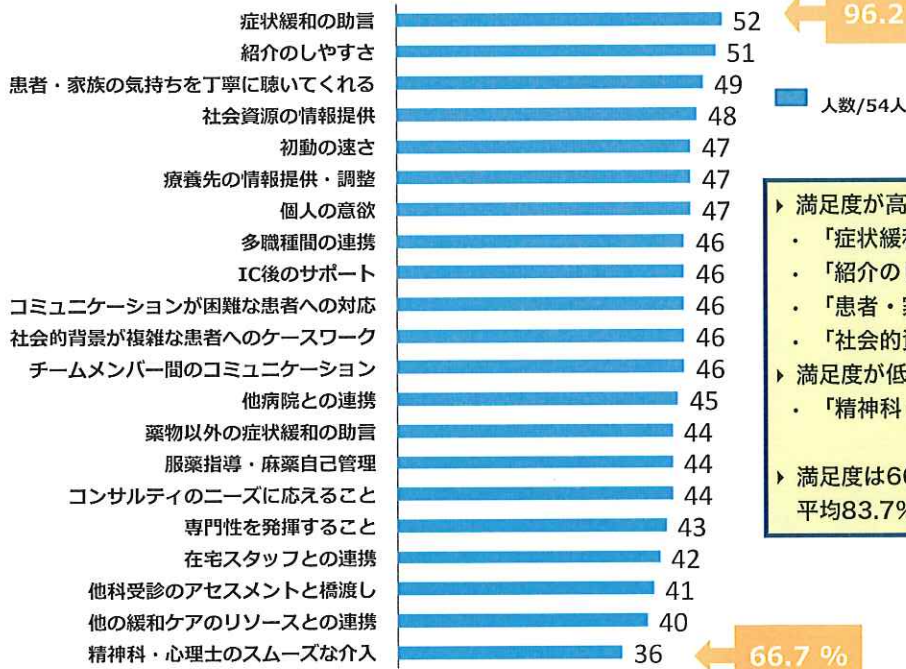
conversion formula (S-DDD : fentanyl 0.6mg=oxycodone 75mg = morphine 100mg)



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

緩和ケアチームに対する満足度調査 (2015)

対象者：医師40名とリンクナース14名



▶ 満足度が高い項目

- ・「症状緩和の助言」
- ・「紹介のしやすさ」
- ・「患者・家族の気持ちを丁寧に聴く」
- ・「社会的資源の情報提供」

▶ 満足度が低い項目

- ・「精神科・心理士のスムーズな介入」

▶ 満足度は66.7～96.2%であり、平均83.7%であった。



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

がん患者・家族サロン

2016 がん患者・家族サロンだより

10月15日

「温かな笑顔が癒し 笑顔の輪が広がる」

2015 がん患者・家族サロンだより

10月13日

「一歩踏み出すときの『がん患者・家族サロン』」

2012 がん患者・家族サロンだより

10月7日

「がんと闘っているすべての皆さんとそこに家族へ」



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

『がん患者・家族サロン』（2007年7月開設）

▶ 目的：がん患者および家族に対する精神面を中心としたケアの充実

▶ 機能

- ▶ がん患者・家族同士の情報交換・親睦（ピアサポート）
- ▶ がんに関する情報収集
（書籍、インターネット、各種パンフレット）
- ▶ がんに関する疑問に医療者が対応（よろず相談）



▶ 特徴

- ▶ 専従スタッフが常駐
- ▶ 平日の10時～16時は常にオープン。
- ▶ ボランティアワークショップを修了された登録ボランティア41名（患者会中心）
- ▶ 緩和ケアチームコアメンバーが多数参加
- ▶ 延来訪者：**26128人**（2016/11/4現在）



よろず相談



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

がん患者・家族サロンスタッフ

経験豊富な専従スタッフ（当院看護師OG）を配置



手作り帽子や折り紙など、新しいことに
どんどん挑戦していこうと思います。
皆さんのお越しをお待ちしております。



まだまだ分からないことも多いですが、
皆さんをあたためる雰囲気でおわかせしま
す。



元気がとれで、犬の好きです。
裏方として頑張っています。



少しでも皆さんのお役に立てるよう、日々
勉強中です。
どうぞよろしくお願いいたします。

Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

よろず相談スタッフ

よろず相談のスタッフの多くが緩和ケアチームコアメンバーである。
このため、切れ目のないケアの提供が可能となっている。



医療相談室



栄養課

看護部



薬剤部



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

積極的な情報発信 (HP)

岩手医科大学附属病院 腫瘍センター
がん患者・家族サロン

お知らせ

- 2016.11.4 各種イベントの情報を更新しました。
- 2016.11.4 平成28年度第2回「がん患者・家族サロンボランティア研修会」を開催しました
- 2016.11.4 リンク集に患者会・レッツスマイルの情報を追加しました。
- 2016.10.5 各種イベントの情報を更新しました。
- 2016.10.5 サロンだより15号を発行します。

2016.10.4 ツムツムのマリちゃん

がん患者・家族サロン紹介 | 開館予定表 | がん患者・家族サロンだより | よくあるQ&A | ボランティア

個人情報保護 | サイトマップ | リンク集 | アクセス

岩手医科大学附属病院 腫瘍センター
がん患者・家族サロン
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1
岩手医科大学附属病院 西病棟3階 TEL019-651-5111(内線3788)
延べ来訪者数：26128人 (2016年11月4日現在)

開設時間
月～金曜日 10:30～16:30
よろず相談受付 13:30～16:30

岩手医科大学
岩手医科大学附属病院



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

来月の予定表

12月

- ▶ イベントを数多く開催
- ▶ HP上に月間スケジュールを公表

月	火	水	木	金	土	日
11/28 イラスト: 鹿、ハート、サンタ	11/29 イラスト: 人	11/30	1 お口のケア 歯ブラシ1本贈呈 栄養士	2 確定の時間 イラスト: 犬	3 サロンはお休み	4
5	6 お金の時間 医療相談員	7 栄養士	8 看護師	9 ペッコペンコ 楽しい工作 薬剤師	10 休診日	11
12 看護師	13 ヒーリング アートメイ 栄養士	14 コットン帽子 製作会 医療相談員	15 お中元で お名前 薬剤師	16 確定の時間 イラスト: 犬	17 休診日	18
19 医療相談員	20 看護師	21 女性の目 薬剤師	22 おしごう 医療相談員	23 天皇誕生日	24 サロンはお休み イラスト: 鹿	25 イラスト: クリスマスツリー
26 オストメイト 相談日 医療相談員	27 お金のケア お金のケア 薬剤師	28 リンパマッサージ 対話Cafe 看護師	29	30 年末休診	31 大晦日	1/1 元旦 今年も宜しくお願いします。



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

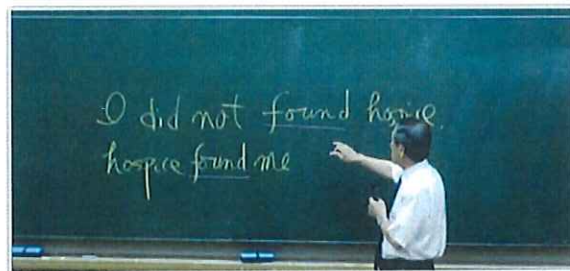
岩手医科大学 高度看護研修センター 緩和ケア認定看護師養成課程



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手医科大学

高度看護研修センター緩和ケア認定看護師養成課程

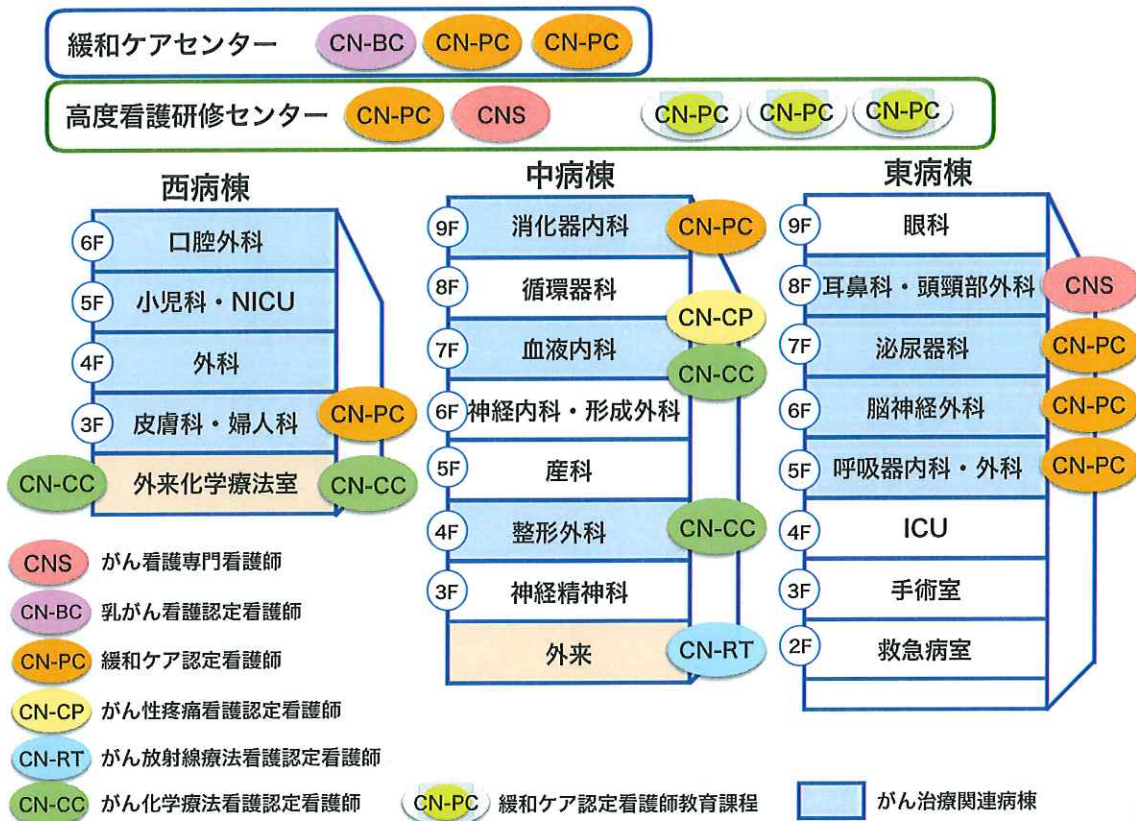


- ▶ 東北・北海道で唯一の緩和ケア認定看護師教育課程
- ▶ 高名な講師の方々による充実した教育体制
- ▶ これまでに74名の認定看護師が誕生



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手医科大学附属病院 がん関連分野 CNS・CNの配置



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

苦痛のスクリーニングの導入と運用状況

1.スクリーニングの運用方法の検討（2015年4月～11月）

：緩和ケア医、専従看護師（緩和ケアセンター）、専門・認定看護師、リンクナース、看護部、事務部門で検討。

a. スクリーニング項目（用紙）の検討

- ▶ 患者および医療者ともに負担の少ないもの
- ▶ 患者の主観で評価が可能なもの

- ▶ MDアンダーソン症状評価票日本語版を改変し使用
▶ 院内相談窓口のリーフレット作成し、スクリーニングの際にお渡しする。

b. スクリーニング実施方法

- ▶ 2015年4月～緩和ケアチームへの依頼の多い外科病棟、泌尿器科病棟から試験的に導入。
- ▶ 2015年12月から、全病棟、および外来化学療法室に導入。

2.看護師対象の選択式アンケート調査を実施。



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

症状評価票（入院時、以降、原則週1回評価）

I. 現在、身体と気持ちの辛さがありますか？

() はい→ はいの方は、下記の当てはまる症状に○をつけて下さい。（特に辛いものは◎をつけて下さい。）

() いいえ

痛み ()	だるさ ()	吐き気・嘔吐 ()
睡眠障害 ()	ストレス ()	息切れ ()
もの忘れ ()	食欲不振 ()	眠気 ()
口の渇き ()	悲しい気持ち ()	しびれやピリピリ痛む感じ ()
その他 ()		

II. 日常生活に支障はありますか？

() はい→ はいの方は、下記の当てはまる症状に○をつけて下さい。（特に辛いものは◎をつけて下さい。）

() いいえ

日常生活の全般的行動 ()	気持ち ()	仕事（家事を含む） ()
対人関係 ()	歩くこと ()	生活を楽しむこと ()



電子カルテに記入 →



当日中に、GMが電子カルテ上で確認



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine


院内の相談窓口のリーフレットを作成し スクリーニングの際に配布する

院内の相談窓口

ひとりで悩まずに
相談してみませんか？

がんと診断された時から
はじまる緩和ケア

このリーフレットは
ご家族にも読んで頂きたい
リーフレットです。



どのようなときに 相談したらいいの？

- 痛み、だるさ、呼吸困難
などからだのつらさがある
- 不安や落ち込み
など気持ちの
つらさがある
- 癌腫先や
医療費の
不安がある
- 自分の存在や生きる意味に
ついての悩みがある

私たちは、あなたとご家族が安心して
これからのことに対処していくことが
できるように支えます。ひとりで悩まずに、
あなたの不安やつらさをお話し下さい。

岩手医科大学附属病院
☎019-651-5111

具体的にどこに 相談したらいいの？

緩和ケア外来（外来対応）
緩和ケアの専門医師が診察します。受診は、
主治医からの紹介が必要になります。
時間：月～木 8:30～12:30

看護外来（外来対応）
がん看護専門看護師と認定看護師が、
患者さんとご家族の生活に合わせて一緒に
考えて対応します。
※事前に予約が必要です。（無料）
時間：平日 13:30～16:00

がん患者・家族サロン（入院・外来）
専任のボランティアスタッフが対応します。
また、薬剤師・栄養士・医療相談員・看護師へ
よろず相談ができます。インターネットや書籍
があり、がんに関する情報収集もできます。
（無料）時間：平日 10:30～16:30

**医療福祉相談室（入院・外来）
（がん相談支援センター）**
医療員のことなど、医療相談員が対応
します。（無料）
時間：平日 9:00～16:00

Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

苦痛のスクリーニングフロー

緩和ケアセンター

病棟

苦痛のスクリーニングの実施
(※4 リーフレットを配布し相談窓口の情報提供)

1次緩和 緩和ケアを必要としている患者をいち早く見出し、
1時緩和ケア（基本的緩和ケア）を実施

2次緩和 認定・専門看護師

- スタッフ・リンクナースから相談を受ける
- スタッフ・リンクナースへの指導
- 患者・家族への専門的ケア (※2 がん患者指導管理料)

リンクナース

- 基本的緩和ケアの指導的役割
- 部署の看護師とPCTをつなぐ

スクリーニングの実施状況について
毎月報告

※3 12月の実践報告で部署の取り組みを報告

緩和ケアセンター

3次緩和 緩和ケアチーム
病棟からの依頼を受け介入

スクリーニング結果※1を月ごとに集計
・スクリーニング結果
・緩和ケア診療加算
・がん患者指導料1,2

緩和ケアの質向上に向けた取り組み
・各部署へのサポート
・緩和ケアリンクナース会のサポート
・研修会の企画

フィードバック

情報共有

助言

情報共有

フィードバック

リンクナース会

師長会議

リンクナース研修会
実践報告会

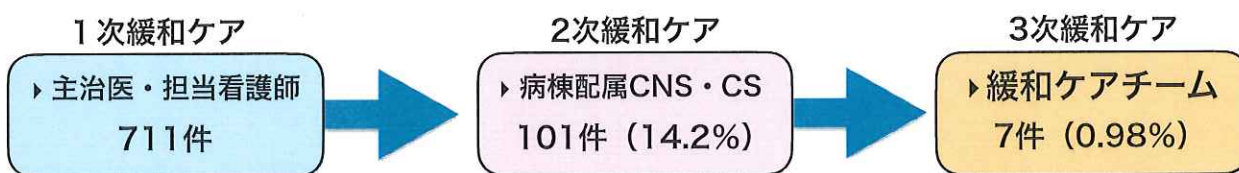
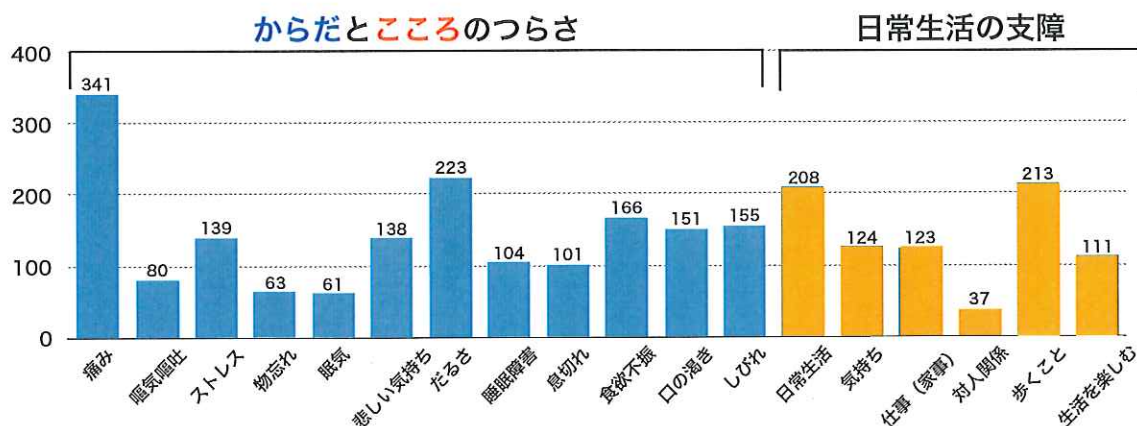
スクリーニング実施後の評価：スクリーニング結果とリンクナース報告
(各部署での取り組み、ケアの状況)を合わせて評価する

- ※1 スクリーニング結果
- ※2 がん患者指導管理料
- ※3 部署での取り組み報告（緩和ケアリンクナース会、実践報告）
- ※4 リーフレットの配布等

Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

スクリーニング結果とスクリーニング後の対応

スクリーニング実施総数 **1544名** (2015/12-2016/7) 苦痛・支障あり **711名 (46%)**



※2015/12-2016-7 緩和ケアチーム依頼件数 283件



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手県緩和ケアテレビカンファレンス

—更なる広がりを目指して—

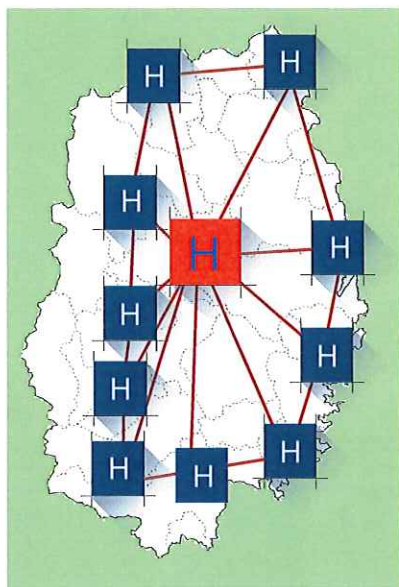
緩和ケアの質の向上、連携の強化



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

岩手情報ハイウェイシステムを用いた 「岩手緩和ケアテレビカンファレンス」の開催

2008年9月26日～



- ▶ テレビカンファレンス会場（11会場）
- ▶ 岩手医科大学（都道府県がん診療連携拠点病院）
- ▶ 2次医療圏（10施設）（※地域がん診療連携拠点病院）
 - ※ 県立中央病院、※ 県立磐井病院、※ 県立胆沢病院、
 - ※ 県立大船渡病院、※ 県立中部病院、※ 県立釜石病院、
 - ※ 県立宮古病院、※ 県立久慈病院、県立千厩病院、
 - ※ 県立二戸病院
- ▶ 参加者
各会場の勤務者、各会場近隣の医療機関（病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、訪問介護事業所等）勤務者、医療系学生（医科大学生、看護学生、リハビリテーション専門学校生）

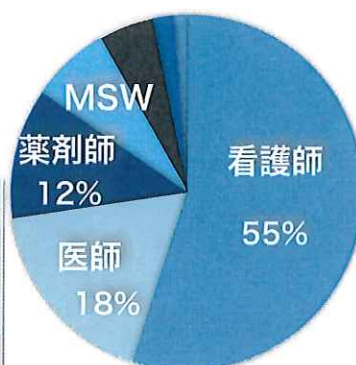


Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

「岩手県緩和ケアテレビカンファレンス」



全80回の開催で、
12097名が参加



毎月第3月曜日 18:30～19:30



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

「緩和ケアテレビカンファレンス」テーマ

- 74回：『窒息への不安が強い患者への関わり』（事例検討）
- 75回：『医療資源の認知、連携、活用の重要性を認識した歯肉癌の1例』（事例検討）
- 76回：『患者の思いを捉えきれなかったか疑問に残る症例』（事例検討）
- 77回：『今後について それぞれ異なる治療を希望する患者、家族とのかかわりから』（事例検討）
- 78回：『希望は変化する』（事例検討）
- 79回：『岩手医大における骨転移に対する緊急放射線治療』（講演）
- 80回：『東北大学病院における緩和ケアの現状』（講演）
- 81回：『本人の思いとのずれに悩む妻～本人の希望しないことをやった方がいいのではないかと思う妻の葛藤～』（事例検討）
- 82回：『チームで支援しながら患者の意思決定を支えた一事例』（事例検討）
- 83回：『独居高齢者で化学療法を希望するがん患者さんをどうやって支えていくか？』（事例検討）



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

第 83 回岩手緩和ケア テレカンファレンス開催

がん対策基本法の施行や県のがん対策推進計画の策定に伴い、緩和医療の重要性はますます増えています。そこで、病院全体の緩和医療のレベルアップを図ることを目的に、県内各基幹病院の協力のもと、岩手情報ハイウェイを利用した緩和ケア・テレカンファレンスを開催しております。

＜テーマ＞ 『 独居の高齢者で化学療法を希望する

がん患者さんをどうやって支えていくか？ 』

症例担当：岩手県立中部病院

＜日時＞ 2016年11月21日（月）午後6時30分～7時30分

＜場所＞ 県立中央病院、二戸病院、久慈病院、宮古病院、中部病院、胆沢病院、磐井病院、千厩病院、釜石病院、大船渡病院、岩手医科大学附属病院

このテレカンファレンスは、医師、看護師、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカー、事務員など緩和ケアに関心のある全職種を対象としております。

今回は岩手県立中部病院より症例を提示し、症例内容を検討していきます。



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

「緩和ケア Team IWATE」



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

まとめ

岩手医科大学附属病院 緩和ケアセンターの活動目標

- ▶ 患者・家族、医師・看護師の『つらさ』『困った』に迅速かつ丁寧に対応
- ▶ 症状緩和、意思決定支援、療養方法の提案、感染対策、栄養管理、侵襲的処置・・・
- ▶ できることはなんでもサポートする。出来ないことは経験を積んで提供できる様に。

岩手医科大学の特徴

- ▶ 大学全体に緩和ケアの推進を図るという共通理念が存在
- ▶ がん患者・家族サロン（専従の担当者を配置、充実したHP、広報誌作成）
- ▶ 緩和ケア認定看護師教育課程の設置
- ▶ がん専門看護師・緩和ケア認定看護師をはじめ、がん関連5分野の専門性を有する看護師の充実。

岩手県の特徴

- ▶ 当院以外の地域がん診療連携拠点病院が全て県立病院。（意思統一が容易）
- ▶ がん診療連携拠点病院の緩和ケア担当医師がほぼ全て外科医。（病病連携が容易）
- ▶ 岩手県緩和ケアテレビカンファレンスを中心とした連携体制の維持向上。



Iwate Medical University Dept. of Palliative Medicine

今後の課題

❖岩手県における都道府県がん診療連携拠点病院として

- ▶緩和ケア活動の質の向上
- ▶最新情報の発信および共有化
- ▶人材交流による連携の強化
- ▶県と協働し人材育成（緩和ケア認定看護師）を促進

